

はばたけ!

帯広市立大空中学校だより

星と森の大空へ

No.2 令和3年 4月 13日発行

～ 重点目標 ～

ONE TEAMで

大空学園義務教育学校へ

家庭・地域に支えられ

共にあゆみ、共につくる

夢のある学校

新年度 笑顔のスタート

無事48名の新生を迎え、令和3年度の学校教育活動がスタート致しました。新型コロナウイルスとの闘いはまだ続きますが、生徒の学びを止めずに、出来ることを最大限行えるよう職員一同、知恵を出し合いながら、子どもたちのために取り組んで行きたいと思っております。

先日、1年生は校舎巡りが始まり、工事中の箇所も多く残念ではありますが、新校開校の夢も膨らませながら楽しく中学校のルールを学んでいました。また、部活動の体験入部も始まり、2・3年生は新入部員獲得に向け、熱の入った練習風景が見られます。大空中学校として最後の年ですが、文武両道で頑張りたいと思っております。



先日の入学式での校長の式辞を掲載させていただきます。ご一読いただければ幸いです。

十勝の永く厳しい冬も 終わりを告げ、さわやかな春のかおり漂う本日ここに、帯広市立大空中学校入学式を挙げていきたいと思います。大きな喜びであります。新生の皆さん 入学おめでとうございます。

また、保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

未だに収束の兆しの見られない新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、学校生活にも多くの制約のある状況が続いています。そして 今日この入学式も、本来であれば、来賓の方々や在校生など、多くの祝福の中で 式を行いたいところでしたが、参加者の人数を制限する中での開催となりました。少し残念な事ですが、皆さんの一生で一度の中学校の入学式ですから、先生方や在校生も精一杯の準備をして今日を迎えました。

皆さんは六年間の小学校生活に別れを告げ、希望と不安を胸に、本日、大空中学校の門をくぐって来たことと思います。今日から、義務教育として残された三年間は、皆さんが心身ともに大きく変化し、成長する三年間でもあります。中学校では、小学校で学んできた基礎をもとに、自分で深く考え、自分の意思で行動しなければなりません。「先生に言われたから」、「親に言われたから」ではなく、自ら進んで取り組むことが大切なのです。

皆さんの行動を支えるため、中学校の先生方は努力を惜しみません。「迷ったとき」、「困ったとき」、「わからないとき」、どんなときでも相談に乗ってくれる先生方です。安心して声をかけてみてください。

また、皆さんは大空中学校としては最後の入学生となります。来年は「大空学園義務教育学校」として、新たな学校として生まれ変わります。先生方や先輩方と共に新たな学校作りに参加してくれることを期待しています。

ここで、学校生活を楽しくするために一つだけお願いがあります。それは、友達を深く理解して大切にすることです。友達を理解し、大切にすることは、自分を理解することにつながります。中学校生活は自己発見の時期です。新しい自分を見つけるためにも是非、友達の考えを理解し、認め大切にできる人になってください。そうすればきっと楽しく充実した中学校生活を送ることができるはずです。期待しています。

終わりになりますが、改めまして、保護者のみなさま、本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。百七十名の生徒を確かにお預かりいたしました。

教職員一同、子どもたちの可能性を信じ、常に子どもたちを中心に置き、誰一人として取り残すことなく、教育活動に邁進していく覚悟です。そのためには、ご家庭の協力をいただくことも多いと思っております。どうかご理解とご協力をお願いいたします。それでは新生の皆さんが、自分の可能性を信じ、輝く未来を歩み続けること事を祈念して、私からの式辞といたします。

令和三年四月八日

帯広市立大空中学校

校長 村松正仁